

# チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第46号平成23年5月20日  
広島市立五日市南中学校  
〒731-5135 佐伯区海老園 4-2-21  
TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

## 校長室だより

初陣<sup>ういじん</sup>を飾<sup>かざ</sup>った生徒のプレーは、  
心がスポンジのように吸収できる良さがある！

～5月9日（月）学校朝会の解説版～

「おはようございます。今日表彰した生徒やチームおめでとう。単に勝った負けただけでなく、その中で努力してきた姿に対しておめでとうございます。いまだ戦っているチームもあれば、今回は負けたチームもあるでしょう。

努力した結果は必ずしも報われるものではありません。今回の戦いも、できる限り試合を見学しながら応援をしています。その時に、プレッシャーに負けてしまったり、ついプレーが雑になったりした場面を見る時があります。そんな時に、いつも考えていることがあります。

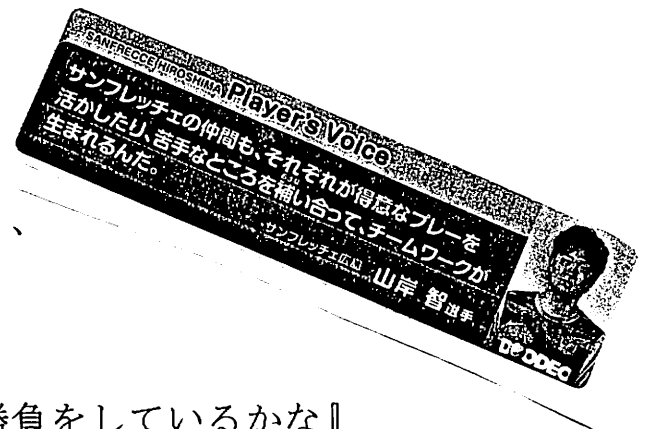
『自分や自分たちの限界を少し超えた所で勝負をしているかな』  
『それを超えるための準備を、自分や自分たちでしているかな』  
『その準備は、技術の習得の努力であるが、習得できる心の状態であることが多い。その心の状態を自分や自分たちでつくっているかな』

そんなことを考えながら、応援をしています。保護者が多く応援に来ている部活動もあれば、少ない部活動もあります。どちらも話をしてみると生徒に対する熱い思いがあります。

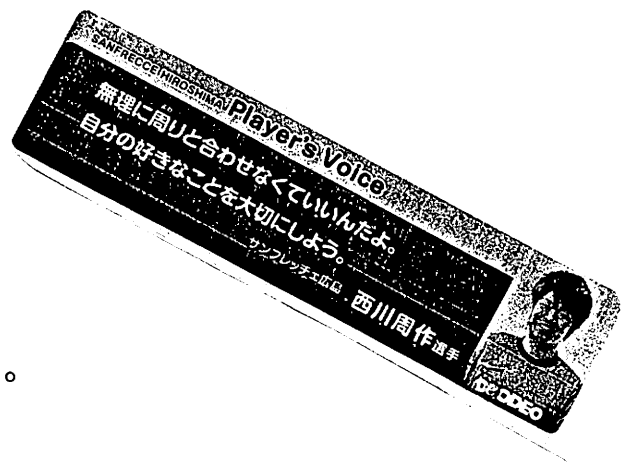
そんな時に、いつも考えていることがあります。

『生徒をより高く伸ばすためには、多くの環境を与えることではない。できるだけ、大好きにさせることと、自分や自分たちで考えさせること。』『他者のせいにして、せっかく自分や自分たちで考えるチャンスがあるのを奪わないこと』

そんなことを考えながら応援したり、保護者と話をしながらも、こんな生徒のよさを観て欲しいと思っています。



だから、ひたむきに努力する生徒の姿は、好きです。  
何かをひたむきに追い求める時には、  
必ず”希望”が生まれてきます。  
でも、なかなか『ひたむきに追い求める』  
ことは、難しいですね。よく大人は、  
これを当たり前のように言うけど、  
心の状態をこのように持って行くことは、  
大人でも、生徒でもとても難しい。  
だけど、生徒は時間がかかっても、  
プレッシャーがかかっても、つい雑に  
なるときがあっても、必ず成長をしていく。  
だから素晴らしいのだと思う。  
ぜひそんな姿を保護者の方にも  
観てもらいたいと思い、  
PTA総会、役員総会、・・・、校長室（挨拶運動の後）で、よく『生徒の



追っかけをしてください』と話します。  
中には、そんな大会の時に、はじめて  
ユニフォームを着て、初めてプレーをした  
初陣（ういじん）を飾った生徒もいま  
す。そんな光景に出くわした時は、嬉し  
さも格別です。

それは、初陣を飾った生徒のプレーは  
心がスポンジのように吸収できる良さ  
があるからです。少し経験を積んだ人に、  
よく言われる格言に『初心忘るべからず』  
があります。つい経験を少し積むと、心  
は弛み（ゆるみ）、スポンジのように吸収  
できる良さを失いがちになるから、よく  
『初心忘るべからず』と言われます。  
そんな心の状態『ひたむきに追い求める』  
を造り上げていくためには、

『大好きにさせることと、自分や自分たちで考えさせること。』  
を保護者の方と共に創る必要があると  
考えています。

以前、始業式で話をした東北高校の  
エースピッチャーで4番バッターは、  
技術も磨いたが、勉強も磨いた。  
そして何より心を磨いたから  
あの行動ができたのでしょ

う。その彼や彼らと同じ心の状態を  
持ったプレーヤーを今回の  
区大会の中でも見るがありました。  
勝敗の勝ち負けとは別の  
もう一つ高いところにある  
心の勝負だと思えます。  
これからも、地に足のついた  
心を磨いたプレーを楽しみにしています。」

